（様式：中学校用）

令和３年度　学校図書館評価シート

足立区立青井中学校　校長 菊入伸二

1　学校図書館の現状（今年度末）

蔵書状況	①　蔵書数　6810 冊（蔵書基準冊数 6080 冊）／ 蔵書率　112.0　%（前年度　114.5%） ②　新規購入図書　438 冊　／　廃棄図書　592 冊　／増減冊数　154 冊

分類	総記 0 類	哲学 1 類	歴史 2 類	社会 3 類	自然 4 類	技術 5 類	産業 6 類	芸術 7 類	言語 8 類	文学 9 類
蔵書構成割合	3 %	4.5%	12 %	10 %	7.5%	4 %	2 %	10 %	3 %	44 %
＊国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%

利活用の状況	①開館時間昼休み～17 時緊急事態宣言中は昼休みのみ　（前年度からの変更 (あり)・なし）　4.5 月は閉館 ②　生徒一人あたりの年間平均貸出冊数　13.9 冊（前年度：　23.0 冊） ③　学校図書館利用率　3393.2　%（前年度：　15.9%）

2　学校図書館基本計画「学校図書館の目標・ねらい」の達成状況（今年度総括）

・新型コロナウィルス感染症対策の影響により、学校図書館の開館日数は減ったが、令和２年度よりも読書推進活動を多く実施することができたので、貸し出し冊数及び、利用生徒数も一昨年度より伸びた。

3　今年度の重点指導事項・具体的取り組み、及び成果目標の達成状況

第１学年	① 小学校からの読書習慣を継続しながら、読書に親しむ意欲を育成する。 ② 学校図書を活用した探究活動を通して、課題解決能力の育成を図る。 ③ 図書の借り方や扱い方等、正しく利用する態度を育てる。

今年度の成果目標	達成基準
◎①朝読書の時間、休み時間や放課後の時間等、主体的に読書をすることができる。 ◎②図書館の本や新聞等を活用しながら探究活動を進め、課題に対して自分の考えをまとめ、表現することができる。 ③学校図書館のきまりや仕組みを知る。	①第１学年生徒の学校図書館利用者 80% ②学校図書館オリエンテーションの学年全生徒の受講率 100%

目標達成状況

①一年生は図書室から教室が一番遠いにも関わらず、利用者数がとても多かった。学年での読書活動の取り組みが功を奏した。
②校外学習の際など調べ学習に学校図書館を利用し、課題に取り組むことができた。
③オリエンテーションに全員参加し、年２回ブックハント等の取り組みにも全員参加した。

第２学年	①いろいろな読み物を読もうとする意欲を育てる。 ②課題によって学校図書やＩＣＴ機器を使い分ける活動を通して、情報活用能力の育成を図る。 ③委員会活動や読書イベントを通じて、主体性の育成を図る。

今年度の成果目標	達成基準
◎①朝読書の時間、休み時間や放課後の時間等、主体的に読書をすることができる。 ◎②課題に応じて、本や新聞等、ＩＣＴ機器を使い分け、探究活動を進めることができる。 ③学校図書館のきまりや仕組みについて理解し、必要に応じて学校図書館を活用することができる。	授業での利用を年 10 回行う

目標達成状況

①図書委員が選書した本を学級文庫として一か月に１０冊ずつ置き、普段手に取らない本にも目が行くようにした。
②校外学習の際に、ICT 機器、本を活用することができた。
③校外学習の時に、学校図書館と公図書館両方から本を借り（学級に）調べ学習に活用した。

第３学年	①読書をとおして考えを広げたり、深めたりしようとする意欲を育てる。 ②学校図書やＩＣＴ機器を活用した探究活動を通して、言語能力の育成を図る。 ③学校図書をよりよくするための活動を通して、主権者としての素養を育成する。

今年度の成果目標	達成基準
①休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書館を活用して、読書をすることができる。 ◎②課題に応じて、本や新聞等、ＩＣＴ機器を使い分け、探究活動を進め、表現することができる。 ③学校図書館のきまりや仕組みについて理解し、よりよい仕組みについて考えたり、話し合ったりすることができる。	第３学年の生徒の学校図書館利用率 100％

目標達成状況

①昼休み、放課後共に主体的に図書室を利用していた。
②校外学習の際、ICT 機器、本等で積極的に調べ学習をすることができた。
③生徒利用率１００％を達成することができた。

４　学校図書館環境整備に関する取り組み成果・効果

【蔵書・配架等に関すること】

2000 年より前に出版された図書は教科の先生と相談して、除籍したり、準備室に移動したりしています。3 桁に変更することによって、一冊一冊の図書を大切にし生徒の意見を取り入れながら NDC に沿った配架をしています。

【学校図書館支援員との連携・協働】

【その他】

「職業調べ」「校外学習」の資料を別置。「職業調べ」はスクラップをして資料提供に協力しています。
「調べ学習」の辞典類は、専用の書架に移動。特殊コーナーとして別置しました。

５　学校図書館運営に関する全体評価（自己評価）

コロナ禍の状況を鑑みても、十分な図書活動ができたと思う。令和２年度よりも多くの読書推進活動を実施することができた。

また、本校は図書室が普通教室と近いこともあり、普段から図書室に足を運びやすい環境にあること、図書室の内装が明るく、図書室に来ると明るい気持ちになれること、図書館支援員の本の宣伝（図書だより、図書室前の廊下のみならず、会議室前、昇降口前、職員室前等にあり）が非常に上手で生徒の興味を引くものであった。

６　学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（外部評価）

特になし。

７　今後の展望　－課題や問題点への改善・対応方針を踏まえて－

生徒数が少ないので、その分予算も少なく、新規購入図書が少ない。分類ごとの蔵書率を見ながら、なるべく古い本は廃棄し、書架の一新を図りたい。図書室の隣に図書閲覧室という名の部屋（古い本の物置き）があるが、図書室と同じ大きさの部屋なので、この部屋の活用（学習室にする）などを検討したい。